

キュー・ピット便り

一〇一七年五月号

ご訃報のお知らせ

葬儀施行会社として、改めて故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

有限会社 屋久島葬祭

☎ 42-2941

合掌

故兄堂園又男儀四月二日九十歳の生涯をとじました。なお、葬儀は自宅にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町中間六三番地

喪主 堂園渡
孫 孫 孫 妹 妹
外親族 丸園川辺園
親族 一
明真弘ミエ子敏テ子
同美吾明テ子

故母泊敏子儀四月八日九十一歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場樂養送別館にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町楠川一二一番地

喪主 泊
長女 婦 藤村由美子敦
外親族 一
ナチ子郎 同

故夫泊一勝儀四月十二日六十九歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場ブルマージュにて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町楠川一二一番地

喪主 泊
長女 婦 藤村由美子敦
外親族 一
ナチ子郎 同

故夫泊一勝儀四月十二日六十九歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場ブルマージュにて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房五四〇番地一五七

喪主 泊
長男 娘 長男 泊
外親族 一
勝 彩 賢 須子也
同吾紗也

故夫濱崎敏憲儀四月十三日八十六歳の生涯をとじました。なお、葬儀は一湊願船寺にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊三一七番地

喪主 濱崎田鶴子
妹 妹 石田洋重子
外親族 一
川崎小夜子

故妻松元幸子儀四月十三日六十七歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場ブルマージュにて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房二三五三番地三二〇

喪主 松元弘
長男 松元輝
二男 松元勇
三男 松元文
長女 松元美
外親族 一
松元香
親族 一
同

故妻川崎勝子儀四月二十五日七十九歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場樂養送にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦一六五番地

喪主 川崎廣
長女 川崎葉人
外親族 一
浮辺崎紀志
同保子子

故夫泊一勝儀四月十二日六十九歳の生涯をとじました。なお、葬儀は有屋久島葬祭斎場ブルマージュにて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたしました。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房五四〇番地一五七

喪主 泊
長男 娘 長男 泊
外親族 一
勝 彩 賢 須子也
同吾紗也

以前は、地域によつては毎日がお盆みたいで、たくさんのお花を飾り、朝夕とお参りに出かけて、お墓との縁が深かつた。花が枯れていたら、連絡が来たり、造花を飾つてあつたら、いいふうに言われなかつた時もあつた。

でも最近では、都会のように年2回、盆・正月しか行かない人もいるし、それが普通になりつつある。また、島内の親戚の方が面倒をみてくれたりしたけど、今では高齢化になり、誰もみてない墓も増えている。

そんな中、納骨堂に切り替える墓もある。子供がいても島外だつたり、負担をかけたくないなど、いろんな理由があつたのだが、最近聞くのが、「嫁ぎ先のお墓に入りたくない」「嫁いできて、嫁・姑の関係で苦労した上に、好き勝手やつてきた旦那達と死んでまでも一緒にいるのは嫌だ」との声。そう、こんな相談や申し込みに来られるのは女性。「実家のお墓に入りたい」「海に散骨してほしい」など、死後もしつかり考へてゐるのは女性なのです。

そう、「男は一瞬、女は一生を考える」と聞くが、世の中を動かしてゐるのが、やはり女性だと感じる。さて、一瞬しか考へてない男性の皆様、私自身も含めて、仕事退職後とか死後、嫁や子供達に捨てられないよう、まずは身近な家族に思いやりをもつて生活していきましょう。

日本もどうなるんだろう。最近問題視される北朝鮮。なんだかんだ言つてもアメリカ頼りの政治。そんな緊迫した状態なのに、国会は失言で辞職話。子供達が東京にいるからものすごく心配です。最後にいろいろ思つてゐる事書いてみましたが、一言で言うとやっぱり「何と言つていいんだろう」これから自分自身、屋久島、日本、先の見えない生活に不安ばかりがよぎる毎日です。

ひとりごと

何と言つたらいいんだろう

最近、何だろう

広がる少子高齢化に始まり、色々感じ、思う毎日。

葬儀などで久しぶりに会う人生の先輩達が白髪が増えたりして確実に歳をとつてゐる。自分自身、老眼になり、身体のあちらこちらで老朽化が進んでゐる。

屋久島は、進まない空港問題の中、島の中は最近外人さんばかり。いろんな理由で消えていく個人店舗。週末になれば、ドライブがてら、家族で品物が安い量販店でのお買物。さらに増える通信販売に配達業は人手不足状態。

屋久島も人手不足。スーパーなどで貼られている求人募集のチラシ。都会の方では、いろんなチエーン店が人手不足により店舗縮小、営業時間短縮で運営している。また、ショッピング、ニュース、天気予報など携帯一つで全てが済んでしまう。自分自身は得意ではないのだが、子供達は普通に使ひこなす。また、高齢化が進むから、老人ホームの定員数が増えるとありがたいのだが、介護する人がいないのが現状だらう。

増える空家問題。住んでいた親が亡くなつて空家だけど、また数年訪れる年忌法要のため、そのままの状態が続く。

冠婚葬祭も、結婚式は10年前は年間30件くらいあつたのに、今は身内だけの顔合わせ食事会で終わる。葬儀も、費用を抑えて行うことが増え、お経なく安置、火葬する場合も増えつつある。

さてさて、日々増える消費税。年金支給年齢を引き上げの支給額低下、さらに増える医療費負担額

日本もどうなるんだろう。最近問題視される北朝鮮。なんだかんだ言つてもアメリカ頼りの政治。そんな緊迫した状態なのに、国会は失言で辞職話。子供達が東京にいるからものすごく心配です。最後にいろいろ思つてゐる事書いてみましたが、一言で言うとやっぱり「何と言つていいんだろう」

